



いむら伸幸

発行日 2022年4月
発行 いむら伸幸連絡所
岡崎市真福寺町深山1-10
Tel.0564-27-3482

岡崎市政レポート No. 39

皆様の声をお聞かせください

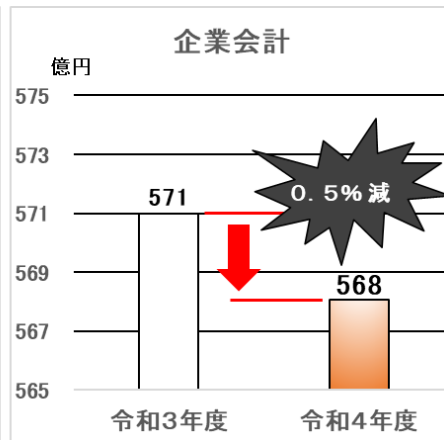
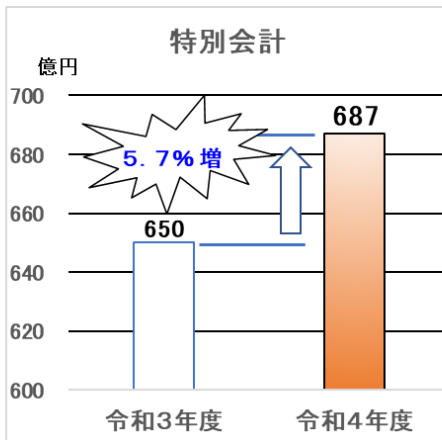
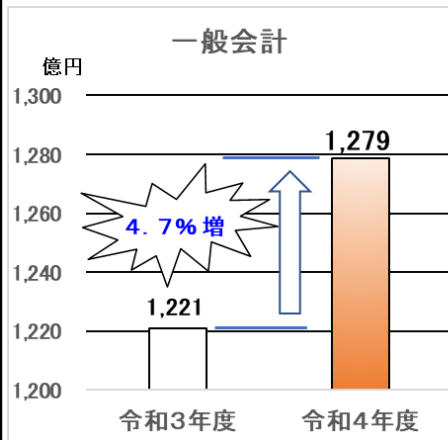
春の暖かさを感じる季節となりました。幾分、落ち着きを見せ始めた新型コロナウイルス感染症も、まだまだ予断を許さない状況です。くれぐれも感染対策の継続をお願いいたします。

さて令和4年2月28日から3月22日の期間で「令和4年3月定例会」が開催されましたので、主な内容について報告させていただきます。

今後も、皆様方のより身近な存在として、ご意見・ご相談をいただき、より一層、暮らしやすいまち、住みやすいまちの実現にむけ邁進してまいります。引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年度当初予算

～コロナ禍を乗り越えて一歩先の暮らしを見据えた魅力あるまちづくりを進める予算～



【主な事業の予算】

- 新型コロナウイルス感染症対策事業：総額59億4,514万円(令和3年度の繰越事業を含む)
- 「どうする家康」関連事業：総額10億6,797万円
- DX(デジタルトランスフォーメーション)事業：総額2億8,184万円
- グリーン社会の実現に向けたカーボンニュートラル事業：1億6,205万円

手話言語条例を制定！

手話が言語であることの理解の促進及び手話を使用しやすい環境の整備に関する基本理念を定めた「岡崎市手と心でつなぐ手話言語条例」が制定されました。

今後も、ろう者とろう者以外の方が共生することのできる地域社会の実現に向けた取り組みが図られます。



パートナーシップ制度を導入！

性的指向、性自認及び性別表現に起因する人権侵害を受けないこと等を基本理念に加えたパートナーシップ・ファミリーシップ制度が導入されます。今後、多様な主体が協働・活躍できるまちづくりが推進されます。



令和4年度当初予算における主な新規事業の概要

子ども・若者総合相談センターを開設

令和3年度に開設した「若者サポートセンター」を、令和4年10月より対象年令・相談対象を拡大し、「子ども・若者総合相談センター」として市役所本庁舎内に設置

【相談対象年令】従来の若者世代(概ね15歳～39歳)に子ども世代(15歳未満)を追加

【相談対象】従来の不登校やひきこもりに加え、新たな社会問題となっているヤングケアラなどにも対応



岡崎市独自の教員採用制度を創設



岡崎市が推進する少人数学級の実現に向けて、不足する教員を募集・採用するため「岡崎市独自教員採用制度」を創設

【市費負担教員(任期付)】

市が3年間の任期付で独自に小学校の教員を採用

【市職員派遣教員】

教員免許を有する岡崎市職員を、本人希望により各学校に教員として派遣



結婚新生活の支援

若い新婚世帯に対し、「住居費」等について経済的支援を実施

【対象経費】

婚姻に伴う住宅取得費用、リフォーム費用、引越費用(1世帯当たり上限30万円)



位置情報検索サービス導入費補助



認知症高齢者及び障がい児・者の見守り支援事業として小型端末(GPS等)により位置情報が検索できる民間サービスの導入初期費用を助成(通信費等を除き、上限1万円)

予防接種費用の補助

受験や就職を控えた中学校3年生、高校3年生に相当する年齢の方に対して

インフルエンザワクチン接種の費用の一部を補助

【補助額】2,000円(1人1回まで)



新生児聴覚検査費用の補助



子どもの音声言語発達への影響を最小限に抑えるために実施する、新生児聴覚検査に係る費用の一部を市が負担

【負担額】5,000円



【くらしの相談窓口】

※地域での困りごとや、市政に関するご意見・ご要望など、お気軽にご相談ください。

【連絡先】○組合支部事務所

〒444-2106 岡崎市真福寺町深山1-10

TEL.0564-27-3482

○市議会(民政クラブ)

〒444-8601 岡崎市十王町2-9

TEL.0564-23-6526



参議院議員

はまぐち誠

さんの紹介

メッセージ

はまぐち誠チャンネル是非ご視聴ください!



みんなのまどくち

まこと

はまぐち誠



国会議員として5年半仕事をさせていただき、常に職場で日々懸命に働く皆さんの声やご意見が、私の活動の原点であり、ブレることなく取り組んで参りました。自動車産業と関連産業が、カーボンニュートラルや自動運転など、100年に一度の大きな変革期にある中、政治が果たす役割と責任は、これまで以上に重要になると思います。働く仲間の皆さんの声をこれからも国会に届け、雇用や生活を守り、産業の発展・成長につなげていきたいと考えます。今年7月、2回目のチャレンジとなります。皆さんとともに必ず乗り越えていきたいと思ひます。